

震災復興支援イベントとしての「海藻おしば教室」開催

- 開催日時 : 平成26年8月23日(土)
- 開催場所 : 気仙沼海の市
- 協力 : 海藻おしば協会、(株)気仙沼産業センター、ユネスコ気仙沼協会、気仙沼図書館
- 対象者 : 気仙沼海の市の会場に来られた体験希望者
- 総体験者数 : 55名
- 総評 : 当協会では、東日本大震災後の復興支援として、震災地の主に子供達を応援する事業として「海藻おしば教室」を開催しています。

これまでにいわき市・宮古市にて開催しており3年目の今年は、気仙沼市で開催致しました。

会場となった気仙沼海の市は、震災後リニューアルし今年の7月19日にグランドオープン致しました。一階は地元食材を生かしたレストランや、気仙沼市のユルキャラ“ホヤぼーや”をモチーフにしたお土産などを販売するショップがあり、観光客で賑わっていました。

2階の会場も海藻のキレイなパネルや、海藻おしばの作品例を展示した効果で、「海藻おしば教室」に興味を示す方々が次々に訪れて下さいました。

10:00から16:00の終了までに、親子連れ、学生さん、ご夫婦など様々な方が初めて体験する海藻を使ったおしば作りに熱中、なかには再チャレンジする方もいて、終始盛況のうちに終了することが出来ました。

野田先生をはじめとする海藻おしば協会の皆様、会場をご提供頂いた(株)気仙沼産業センターの皆様有難うございました。



気仙沼 海の市



ユルキャラ ホヤぼーや

■海藻おしば教室実施風景

気仙沼海の市の2階が体験会場だったので、人の流れを「海藻おしば教室」に向けるように前日から入口にポスターを張り開催を案内。又、パネルや作品例で海藻の美しさをアピールしました。

パレットの中には、色とりどりの9種類の海藻が並んでいます。体験者も初めて見る海藻や、作品例の美しさ・楽しさに目を輝かせていました。

開催中興味を持った方が、自分で今後行う方法について、野田先生に詳しく聞いていたり、ボランティア団体の方が、仮説住宅で暮らす子供達に体験させて海の素晴らしさを再確認させたいと、作品例を希望していたのが印象的でした。



入口にポスターで開催案内



バナーの提示



受付にも作品例



キレイなお土産のシオリ



体験希望者が続々と



満員御礼となりました



野田先生の作り方の説明



今回最初の体験者



パネルや作品例



東北地方の海藻



海藻を綺麗に広げて



海藻の形に驚く



海藻の種類の説明



完成まじか



皆様真剣に作成中



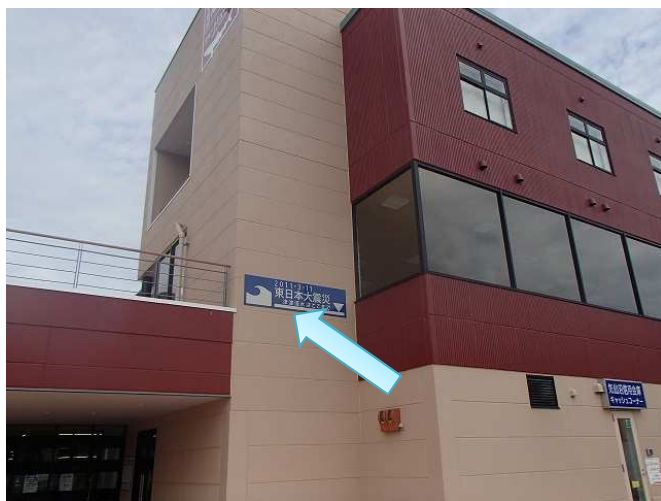
様々な海藻を使って作成



ホヤぼーやも出来ました



続々と素敵な作品が完成



震災時津波がここまで到達



港も活気を取り戻しつつある